

新規採用・削除医薬品等通知

薬剤部 医薬品情報管理係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	アマージ錠 2.5mg	劇
(英名)	Amerge Tablets	
(規格・含有量)	2.5mg/1錠 1錠中、ナラトリプタン塩酸塩 2.78mg(ナラトリプタンとして 2.5mg)を含有	
(一般名)	ナラトリプタン塩酸塩錠	
(メーカー名)	グラクソ・スミスクライン	
【薬価収載日】	2008年4月	
【薬価】	1錠:893.40円	
【薬効コード】	87216	
【薬効分類名】	5-HT _{1B/1D} 受容体作動型片頭痛治療剤	
効能・効果	片頭痛	
用法・用量	通常、成人にはナラトリプタンとして1回2.5mgを片頭痛の頭痛発現時に経口投与する。なお、効果が不十分な場合には、追加投与することができるが、前回の投与から4時間以上あけること。ただし、1日の総投与量を5mg以内とする。	
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②心筋梗塞の既往歴のある患者、虚血性心疾患又はその症状・兆候のある患者、異型狭心症(冠動脈攣縮)のある患者 ③脳血管障害や一過性脳虚血性発作の既往のある患者 ④末梢血管障害を有する患者 ⑤コントロールされていない高血圧症の患者 ⑥重度の肝機能障害又は重度の腎機能障害のある患者 ⑦エルゴタミン、エルゴタミン誘導体含有製剤、あるいは他の5-HT _{1B/1D} 受容体作動薬を投与中の患者	
相互作用	本剤他剤作用増強 エルゴタミン(エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン)、エルゴタミン誘導体含有製剤(ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、エルゴメトリンマレイン酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩)、5-HT _{1B/1D} 受容体作動薬(スマトリプタンコハク酸塩、ゾルミトリプタン、エトレトリプタン臭化水素酸塩、リザトリプタン安息香酸塩) 他剤副作用増強 選択的セロトニン再取り込み阻害薬(フルボキサミンマレイン酸塩、パロキセチン塩酸塩水和物、塩酸セルトラリン)、セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬(ミルナシプラン塩酸塩、デュロキセチン塩酸塩)	
副作用	重大な副作用 アナフィラキシーショック、アナフィラキシー様症状、狭心症あるいは心筋梗塞を含む虚血性心疾患様症状 その他 悪心、嘔吐、痛み、眠気、めまい、倦怠感 等	

(薬品名)	トリーバ注 フレックスタッチ	劇
(英名)	TRESIBA FlexTouch	
(規格・含有量)	300単位/3mL・インスリン デグルデクとして100単位/mLを含有	
(一般名)	インスリン デグルデク注射液	
(メーカー名)	ノボ ノルディスク ファーマ	
【薬価収載日】	2013年2月	
【薬価】	1筒:2,546円	
【薬効コード】	872492	

【薬効分類名】	持効型溶解インスリンアナログ注射液
効能・効果	インスリン療法が適応となる糖尿病
用法・用量	通常、成人では、初期は1日1回4～20単位を皮下注射する。注射時刻は毎日一定とする。投与量は患者の症状及び検査所見に応じて適宜増減する。他のインスリン製剤を併用することがあるが、他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常1日4～80単位である。但し、必要により上記用量を超えて使用することがある。
禁忌	①低血糖症状を呈している患者 ②本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
相互作用	本剤作用増強 糖尿病用薬(ビグアナイド系薬剤、スルホニルウレア系薬剤、速効型インスリン分泌促進剤、 α -グルコシダーゼ阻害剤、チアゾリジン系薬剤、DPP-4阻害薬、GLP-1受容体作動薬等)、モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤、三環系抗うつ剤(ノルトリプチリン塩酸塩等)、サリチル酸誘導体(アスピリン、エテンザミド)、抗腫瘍剤(シクロホスファミド水和物)、 β -遮断剤(プロプラノロール塩酸塩、アテノロール、ピンドロール)、クマリン系薬剤(ワルファリンカリウム)、クロラムフェニコール、ベザフィブラート、サルファ剤、シベンゾリンコハク酸塩、ジソピラミド、ピルメノール塩酸塩水和物 本剤作用減弱 チアジド系利尿剤(トリクロルメチアジド、シクロペンチアジド)、副腎皮質ステロイド(プレドニゾロン、トリアムシノロン)、ACTH(テトラコサクチド酢酸塩)、アドレナリン、グルカゴン、甲状腺ホルモン(レボチロキシナトリウム水和物、乾燥甲状腺)、成長ホルモン(ソマトロピン)、卵胞ホルモン(エチニルエストラジオール、結合型エストロゲン)、経口避妊薬、ニコチン酸、濃グリセリン、イソニアジド、ダナゾール、フェニトイン 本剤作用増強又は減弱 蛋白同化ステロイド(メスタノロン)、オクトレオチド
副作用	重大な副作用 低血糖、アナフィラキシーショック その他 頭痛、めまい、糖尿病網膜症の顕在化又は増悪、注射部位反応(疼痛、血腫、結節、熱感等)

(薬品名)	エリキウス錠 2.5 mg
(英名)	Eliquis tablets
(規格・含有量)	2.5mg/1錠 1錠中、有効成分アピキサバン 2.5mgを含有
(一般名)	アピキサバン錠
(メーカー名)	ブリistol・マイヤーズ
【薬価収載日】	2013年2月
【薬価】	1錠: 144.90円
【薬効コード】	873339
【薬効分類名】	経口FXa阻害剤
効能・効果	非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制
用法・用量	通常、成人にはアピキサバンとして1回5mgを1日2回経口投与する。 なお、年齢、体重、腎機能に応じて、アピキサバンとして1回2.5mg1日2回投与へ減量する。
警告	本剤の投与により出血が発現し、重篤な出血の場合には、死亡に至るおそれがある。本剤の使用にあたっては、出血の危険性を考慮し、本剤投与の適否を慎重に判断すること。本剤による出血リスクを正確に評価できる指標は確立されておらず、本剤の抗凝固作用を中和する薬剤はないため、本剤投与中は、血液凝固に関する検査値のみならず、出血や貧血等の徴候を十分に観察すること。これらの徴候が認められた場合には、直ちに適切な処置を行うこと。
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②臨床的に問題となる出血症状のある患者[出血を助長するおそれがある。] ③血液凝固異常及び臨床的に重要な出血リスクを有する肝疾患患者[出血の危険性が増大するおそれがある。] ④腎不全(クレアチニンクリアランス 15mL/min未満)の患者[使用経験がない。]
相互作用	本剤作用増強 アゾール系抗真菌剤(フルコナゾール、イトラコナゾール、ボリコナゾール等)、HIVプロテアーゼ阻害剤(リトナビル等)、マクロライド系抗菌薬(クラリスロマイシン、エリスロマイシン等)、ナプロキセン、ジルチアゼム 本剤他剤副作用増強 血小板凝集抑制作用を有する薬剤(アスピリン、クロピドグレル硫酸塩、ジピリダモール、チクロピジン塩酸塩、シロスタゾール、オザグレルナトリウム等)、抗凝固剤(ワルファリンカリウム、未分画ヘパリン、ヘパリン誘導体、低分子ヘパリン、エノキサパリンナトリウム、フォンダパリヌクスナトリウム、ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩、アルガトロバン水和物等)、血栓溶解剤(ウロキナーゼ、t-PA等)、非ステロイド性消炎鎮痛剤(ジクロフェナクナトリウム、ナプロキセン等) 本剤作用減弱 リファンピシン、フェニトインカルバマゼピン、フェノバルピタール、セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品
副作用	重大な副作用 出血 その他 眼出血、鼻出血、歯肉出血、血尿、挫傷等

(薬品名)	オーキシス 9μ gタービュヘイラー28 吸入
(英名)	Oxis 28 doses
(規格・含有量)	1 回吸入量(容器から放出される量)中、ホルモテロールフマル酸塩水和物 9μ g を含有
(一般名)	ホルモテロールフマル酸塩水和物吸入剤
(メーカー名)	アストラゼネカ
【薬価収載日】	2012 年 8 月
【薬価】	1660 円/1 キット
【薬効コード】	872259
【薬効分類名】	ドライパウダー吸入式気管支拡張剤
効能・効果	慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解
用法・用量	通常、成人には1回1吸入(ホルモテロールフマル酸塩水和物として9μ g)を1日2回吸入投与する。
禁忌	本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者
相互作用	他剤作用増強 カテコールアミン(アドレナリン、イソプレナリン等) 他剤副作用増強 キサンチン誘導体(テオフィリン、アミノフィリン等)、全身性ステロイド剤(プレドニゾン、ベタメタゾン等)、利尿剤(フロセミド等)、QT間隔延長を起こすことが知られている薬剤(抗不整脈剤、三環系抗うつ剤等) 本剤作用減弱 β 遮断剤(アテノロール等)
副作用	重大な副作用 重篤な血清カリウム値の低下 その他 頭痛、振戦、動悸、激越、情緒不安、睡眠障害、頻脈、筋痙攣 等

削除医薬品通知

●5月1日より

イミグラン注 3	削除
硫酸ポリミキシンB錠 25 万単位	削除
イムシスト勝注用 81mg	削除
ペロテックエロゾル 100 10mL	5/1 以降呼吸器内科・感染症内科の特薬に移行

適応追加通知

注射用エンドキサン 100mg 500mg	褐色細胞腫 ビンクリスチン硫酸塩、ダカルバジンとの併用において、通常、成人にはシクロホスファミド(無水物換算)として1日1回 750mg/m ² (体表面積)を静脈内投与後、少なくとも20日間休薬する。これを1クールとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
エイムゲン	本剤を添付の溶剤(日本薬局方注射用水) 0.65mLで溶解し、通常、0.5mLずつを2~4週間隔で2回、筋肉内又は皮下に接種する。更に初回接種後24週を経過した後に0.5mLを追加接種する。免疫の賦与を急ぐ場合には、0.5mLずつを2週間隔で2回、筋肉内又は皮下に接種する。しかし、長期に抗体価を維持するためには3回目の追加接種をすることが望ましい。
トラゼンタ錠 5mg	2型糖尿病
オンコピン注射用 1mg	白血病(急性白血病、慢性白血病の急性転化時を含む)、悪性リンパ腫(細網肉腫、リンパ肉腫、ホジキン病)及び小児腫瘍(神経芽腫、ウィルムス腫瘍、横紋筋肉腫、睾丸胎児性癌、血管肉腫等)の場合 通常、ビンクリスチン硫酸塩として小児 0.05~0.1mg/kg、成人 0.02~0.05mg/kg を週1回

	<p>静脈注射する。ただし、副作用を避けるため、1回量 2mg を超えないものとする。</p> <p>褐色細胞腫 褐色細胞腫の場合</p> <p>シクロホスファミド水和物、ダカルバジンとの併用において、通常、成人にはビンクリスチン硫酸塩として、1日1回 1.4mg/m²(体表面積)を静脈注射し、少なくとも20日間休薬する。これを1クールとし、投与を繰り返す。</p> <p>ただし、副作用を避けるため、1回量 2mg を超えないものとする。なお、患者の状態により適宜減量する。</p>
<p>ネオーラル内用液 10%</p> <p>ネオーラルカプセル 10mg</p> <p>25mg</p> <p>50mg</p>	<p>ベーチェット病(眼症状のある場合)、及びその他の非感染性ぶどう膜炎(既存治療で効果不十分であり、視力低下のおそれのある活動性の中間部又は後部の非感染性ぶどう膜炎に限る)</p> <p>ベーチェット病及びその他の非感染性ぶどう膜炎の場合</p> <p>通常、シクロスポリンとして1日量5mg/kgを1日2回に分けて経口投与を開始し、以後1ヵ月毎に1日1~2mg/kg ずつ減量又は増量する。維持量は1日量3~5mg/kgを標準とするが、症状により適宜増減する。</p>
ダカルバジン注用 100	<p>褐色細胞腫</p> <p>通常成人では、シクロホスファミド水和物とビンクリスチン硫酸塩との併用において、ダカルバジンとして1日1回600mg/m²(体表面積)を2日間連日静脈内投与し、少なくとも19日間休薬する。これを1コースとし、繰り返し投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。</p>
静注用マグネゾール 20mL	<p>重症妊娠高血圧症候群における子癇の発症抑制及び治療</p> <p>初回量として、40mL(硫酸マグネシウム水和物として4g)を20分以上かけて静脈内投与した後、毎時10mL(1g)より持続静脈内投与を行う。症状に応じて毎時5mL(0.5g)ずつ増量し、最大投与量は毎時20mL(2g)までとする。本剤は初回量投与の場合を除いて、持続注入ポンプを用いて投与すること。</p>
マグセント注 100mL	<p>重症妊娠高血圧症候群における子癇の発症抑制及び治療</p> <p>初回量として、40mL(硫酸マグネシウム水和物として4g)を20分以上かけて静脈内投与した後、毎時10mL(1g)より持続静脈内投与を行う。症状に応じて毎時5mL(0.5g)ずつ増量し、最大投与量は毎時20mL(2g)までとする。本剤は初回量投与の場合を除いて、持続注入ポンプを用いて投与すること。</p>